

# RUGBY OPENS MANY DOORS

## 世界文化遺産 かもみおやじんじや 賀茂御祖神社（下鴨神社）ラグビープロモーション事業

### ～世界文化遺産 下鴨神社 「第一蹴の地」でラグビーを！～

#### 事業実施レポート



- 開催日：平成 29 年 10 月 15 日（日）
- 会 場：賀茂御祖神社・糺の森馬場「第一蹴の地」付近一帯
- エントリー数：39 チーム 262 人 小学生 175 人・中学生以上成人 87 人

さる平成 29 年 5 月 10 日に「ラグビーワールドカップ 2019 プール組み合わせ抽選会」に合わせて、ワールドカップ参加国のコーチやラグビーワールドカップ組織委員会、同開催地自治体首長などの関係者をお招きして、下鴨神社・糺ノ森にて蹴鞠と「第一蹴の地」記念碑の視察会が開催されました。

その模様は、日本国内のみならず世界に向けて発信され、世界文化遺産として馴染みの深い下鴨神社が関西ラグビー発祥の地であることが多くの方々に知れ渡ったところです。



また、9 月 11 日には、現在開催中のムロオ関西大学ラグビーAリーグのプレスカンファレンス（記者発表）会場として、同リーグ在籍の 8 大学のキャプテン・監督と関係者、多数の報道の方々が集い、雑太社の前にラグビーの発展やリーグの安全と成功を祈念するなど、関西ラグビーの中の認知が広がってきています。

それらのことを契機として、同地を関西ラグビー発祥の地としてさらに多くの方々に告知いただき、ラグビーの神様をお祀りしている誰もがいつでも訪れることが出来る身近な地としていただくために、ラグビー愛好者や地域の方々、下鴨神社に御参詣されるの方々などを広く対象として、関西ラグビー発祥の地でラグビーをプレーし、また観戦する機会として標記ラグビープロモーション事業を実施しました。

なお、実施にあたっては、ラグビー関係者のみならず、下鴨神社の諸神事や伝統行事の保存と継承等を担い

ご活躍されておられる団体・地域の皆さまの深い御理解と御支援のもと実施させていただいたところです。

下鴨神社の敷地内にある糺の森にある「第一蹴の地」と記された石碑

には、明治 43 年（1910 年）慶應義塾の学生が、京都の第三高等学校の学生にラグビーを伝え、関西の地で初めてラグビーボールを蹴ったと記載されています。今から遡ること 100 年以上前に、この地で関西ラグビーが発祥したことを伝えるもので、昭和 44 年（1969 年）旧制三高関係者の手によって建立されました。この度、そのすぐ傍に、雑太社（さわたしゃ）という神社が再興され、同神社には、神魂命（かんだまのみこと）という神様が祀られ、蹴鞠やサッカーの神様、魂は球に通じるとされる。同地では、ラグビーのほかに



## RUGBY OPENS MANY DOORS

もここではさまざまなスポーツ大会が開かれてきたという由緒ある場所であり、今日も多くのラグビー関係者が訪れる関西ラグビーの聖地ととなっています。雑太社には、関西はもとより、全国各地のラグビーに想いを寄せる方々の想いをつづった絵馬を



見ることが出来ます。すでに下鴨神社という名前がすでに全国のラグビーファンに浸透し始めている事実を如実に物語っていると言えるのではないのでしょうか？



この度の事業は、そのような背景と未来を見越した多くの関係者の想いを実現する場でもあり、その開催目的に「下鴨神社・糺の森でラグビープロモーション事業を展開することをもって、多くの方々に関西ラグビー発祥の地であることを知らしめ、その地でラグビーをプレー・観戦することを通じて、ラグビーをより身近に感じ魅力を感じていただくことをもって、関西ラグビー発展の礎とすることを目的とする。」とあるように単なるラグビーの試合というよりも、この地でプレーすることに大きな意味合いのある集いとして準備を進め、当日も多くの方々の熱い想いで実施出来たように感じています。

当日は前日から続く雨で開催自体がとても危ぶまれましたが、ラグビーの神様への祈りが通じたのか小雨が降り続く中、試合数を短縮して行うこととなりましたが、最終ゲームまで安全に楽しく実施することが出来ました。

小学生のはつらつとしたプレー、初めてタグラグビーの試合を経験する子どもたち、みんなそれぞれの力を

を存分に出して楽しんでいた姿が印象的でした。子どもたちの活躍を支え、あたたかい声援を送る保護者や指導者の皆さまもとてもすてきな応援で爽やかな気分になったことが強く印象に残っています。



ノーサイド直後のアフターマッチファンクションも運営スタッフの方々がすてきな進行で選手から言葉を引き出してくださっていました。ついさっきまで、相手を上回ろうとしのぎを削っていたプレーヤー同士が、ノーサイドの瞬間から同じスポーツを楽しむ仲間にな

る。握手を交わし、相手を褒めたたえる姿に我々大人がとても大切なことを子どもたちから学んだように感じました。

子どもたちだけでなく、大人のプレーヤーもとても素晴らしいゲームやラグビースピリットを見せてくださいました。高校ラグビーのOBチームや遠く府外からお越しいただいたチームなどこの機会を通じて旧交を温めたり、絆を確かめ合ったりしていただけたことはこの上ない喜びでもあります。



結びに、このような素晴らしい機会をお与えくださいました神社関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。実施に向けての複数回の打合せの設定や参加賞や記念メダル等心温まる品々のご提供、グラウンドの整備や当日備品のご準備等、実施に向けて本当に多くの力を与えてくださり、支え背中を押してくださったことに心から感謝申し上げます。

「第1回」としての事業が終わった今、今回実施してみて分かったことをしっかりふりかえりながら、ぜひ次に向けた、いや107年前の偉大な先人に負けないように次の100年、100年後をイメージした取組に繋がっていかばと考えております。

引き続き、ご指導、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

